



穂学

令和6年度 広州日本人学校
学校だより No.5
令和6年7月26日
発行責任者 校長 大久 耕

夏休みが始まります



本日、第1学期の終業式を行いました。終業式では、児童生徒一人一人の頑張りを称えるとともに、力を合わせて広州日本人学校の新たな1ページを刻むことができたことへの感謝を伝えました。

夏休み中は、普段はなかなかできないようなことにじっくりと時間をかけて取り組んだり、新たなことに挑戦したりするとともに、1学期の復習をとおして学習内容の定着を図っていただければと思います。

明日から8月18日まで、23日間の夏休みとなります。お出かけや一時帰国されるご家庭も多いことかと思えます。どうぞ健康や安全に気を付けてお過ごしください。

8月19日(月)の始業式には、元気な子供たちに会えることを楽しみにしております。

夏祭りの開催 ありがとうございました

7月20日(土)の夏祭り開催にあたりましては、PTA本部、ボランティア、おやじの会、商工会会員等、多くの方々にご協力、ご尽力いただきましたこと感謝申し上げます。

子供たちは、いつもとはちょっと違う空間に変身した学校で、最高に楽しいひと時を過ごすことができました。

在広州日本総領事館の貴島総領事も来校し、校内を回りましたが、PTAの周到な準備や中学生の活躍、おやじたちの活気、広州日本商工会の団結力に感激されていました。

これからも様々な活動において、皆様のお力をお借りすることがあるかと思えます。引き続き、どうぞよろしくお願ひします。



～ 学校長日記 ～

1学期末で、多くの子どもたちとお別れとなりました。日本人学校では、各学期末での児童生徒の入替りは、どうしても避けることのできないものですが、やはり寂しい気持ちでいっぱいになります。

「母校」というと、卒業した学校を示すことが多いですが、日本人学校に入学し、卒業まで在学する子供たちは少数です。そのような中では、ここ広州での学びが子供たちの未来に役立つことを願うばかりです。広州日本人学校で出会った友だちや教員、中国の人々や文化が、子供たちにとって大切な思い出となり、次のステージを歩む糧となっていることが実感できたら、胸を張って広州日本人学校を「母校」と言ってほしい、そう思っています。

一緒に学んでくれてありがとう。これからもずっと仲間だよ。